

“優しく、強く、愛しい人”の育成

～ 令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果から ～

中学校版

本年4月に中学3年生が実施した「全国学力・学習状況調査」について、全国や静岡県調査の結果が新聞等に掲載されました。文部科学省から届いた焼津市の調査結果を分析しましたので、その概要をお知らせします。



まずは、「焼津市教育大綱」に関する生徒への質問事項の結果から報告します。

「優しさ」と「強さ」を兼ね備えた「愛しい」人に……

- つまずいても、失敗しても、あるいは壁にぶつかっても、負けないで粘り強く立ち向かう「たくましい強さ」をもった人
- 時代の変化に対応できる柔軟さ、あるいは苦しい体験や辛い思いをしたときに折れることなく、それらをよい経験としてポジティブに受け止めるなどの「柔軟な強さ」をもった人
- 他者の立場を理解し認め、他者の考えを受け入れられる優しさをもった人。他者との協調や協働を大切にし、和の心をもった人
- 人から愛され、信頼される「愛しい人」

以下の表は、生徒質問調査のうち、教育大綱に示された理念等に関わる質問事項を取り出し、令和3年度から今年度(令和8年度)までの結果をまとめたものです。

No.	学習状況調査(生徒質問調査)の「教育大綱」にかかわる質問事項	R3	R4	R5	R6	R7	R8
①	自分には、よいところがあると思いますか	79.2	76.9	77.6	82.0	86.5	81.4
②	将来の夢や目標を持っていますか	68.3	63.4	61.9	65.5	70.5	69.3
③	人が困っているときは、進んで助けていますか	89.3	86.8	86.1	91.3	92.1	89.8
④	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.2	93.6	95.0	95.4	96.1	94.2
⑤	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	74.5	76.5	77.0	79.3	81.5	79.3
⑥	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか			86.8	91.0	92.2	89.1
⑦	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	69.1	69.5	65.4	80.7	76.0	76.2

各学校では、教育大綱の理念を柱に学校教育目標や重点目標を立て、授業や行事などのあらゆる教育活動で、生徒主体の活動を推進してきました。今年度は、昨年度よりも少し下がっていますが、どの質問にも肯定的な回答が多く、R3～R5 と比べ着実に伸びています。

No.	質問事項 ※生徒質問調査	R3	R4	R5	R6	R7	R8
⑪	学校に行くのは楽しいと思いますか	81.4	83.3	79.9	86.0	86.8	84.3
⑫	友達関係に満足していますか			86.5	89.5	91.7	88.6

上の表からわかるように、友達関係に満足している割合が多い年の生徒は、学校を楽しんでいる割合が高く、逆に満足度がやや低い年の生徒は、楽しいと感じる割合も低いことが分かります。生徒が友達と協力し、高め合う「和のある集団」を創造することは、学校が安心できる居場所となるだけでなく、生徒が成長する上で欠かせないと考え、今年度の焼津市の学校教育の重点は、「和のある集団の創造」としました。

「国語が得意」県比 +4.1P！ 「国語が好き」県比 +2.7P！

生徒質問調査で、多くの生徒が「国語の授業が得意」「勉強が好き」と答えています。授業をはじめ日々の学習の積み上げが、しっかりと実を結んでいます。

【ここが強みです！】

漢字の読み書きや、文脈に応じた言葉の使い方は、全国平均を上回る素晴らしい結果でした。基礎となる「言葉の力」が着実に身に付いてきています。

【これからの目標：自分の考えを「短くまとめる力」を伸ばします】

学力調査では「文章の要旨を正確に捉えること」や「資料から情報を読み取り、それをふまえて考えをまとめること」に少し苦戦する様子が見られました。今後は、情報を正確につかみ、整理して、自分の意見を分かりやすく伝える学習を授業の中で重点的に行っていきます。

【ご家庭でのお願い】

日常的にタブレットやスマートフォンなどを使用することが増えていますが、同音異義語など漢字が持つ意味に注意して、それを使うことは、手書きでなくても必要です。単なる漢字の読み書き練習や意味調べを繰り返すのではなく、意味を捉えた学習を積み重ねることを目指していきたいと思います。学校と家庭が一緒になって、お子さんの言葉の力をさらに伸ばしていきたいです。

【数学】『数と式』『図形』…基礎的・基本的な力の定着が見られます

学力調査から、領域別では『数と式』の基本的な計算や『図形』の基礎において、全国と同等以上の定着が見られました。また、焼津市の多くの生徒が「数学が好き」「授業がよく分かる」と回答しており、学びに対する前向きな姿勢がうかがえます。

一方で、『関数』や『データの活用』の領域、そして思考力や表現力が求められる記述式問題に課題が見られました。特に、「反比例の表の特徴から対応する値を求める問題」や、「さいころの出方から起こり得る場合を整理して確率を求める問題」など、複雑な条件を捉えて解く問題で苦戦する傾向が見られました。また、解き方や理由を自分の言葉で書き表す「記述式問題」では正答率が低く、無回答の割合も高くなっています。

これらの結果から、問題解決のために必要な基礎的な知識・技能は身に付いていると考えられますが、それらを活用して「筋道を立てて、正しく答えを導く力」や、「理解した内容を言葉や式にまとめる表現力」に課題があると考えられます。

今後は、生徒たちの「分かる・楽しい」という実感を土台として、自力で粘り強く問題に取り組む姿勢を伸ばして、確かな学力の育成を図っていきます。

【英語】「将来、社会に出たときに役に立つ」…80%！

領域別では、「聞くこと」「読むこと」を中心に、必要な情報を聞き取ったり見つけたりする問題で、全国平均を上回る良好な結果となりました。

選択式問題や単語の入力問題では無解答率がほとんど0%で、日頃の授業で学んだ基礎的な語彙や文法が知識として、しっかり定着していることが分かります。

一方で、自分の考えとその理由を英文で書いたり話したりする「思考力・表現力」を問う問題で正答率が低く、読んだり、聞いたりした内容に対して、「自分の意見とその根拠を説明できる」、「即興で自分の考えを表現できる」といった活用面で課題が見られました。今後は、生徒が主体的にコミュニケーションを図る中で、基礎的な知識を確実に身に付けるとともに、学んだ英語を活用して「なぜそう思うのか」という理由や根拠まで考えて、伝え合う授業に取り組んでいきたいです。

1 家庭生活

家庭での基本的な生活について、「朝食を毎日食べている」が90.4%、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」が91.7%で、焼津市の多くの生徒は、基本的な生活習慣が身に付いていることが分かります。

家庭学習については、約3割の生徒が「平日1日の家庭学習が2時間以上」であることが分かりました。一方で、スマートフォンの使用については、5割以上の生徒が、「平日1日のSNSや動画視聴が3時間以上」と回答しており、SNSや動画視聴等の利用時間が長い生徒ほど、各教科の正答率が低い傾向にありますので、このことは心配な点です。ただし、ICTを活用する自信がある生徒ほど、各教科の正答率が高い傾向が見られ、その使い方が重要とも言えます。

ご家庭では、お子さんが、時間の使い方に関して自分自身で考え、判断し、行動することができるよう、温かな声かけや働きかけを引き続き大切にしてください。加えて、使用時間だけでなく、スマートフォンの使い方についても、親子で今一度話し合ってください、お子さん自身が使い方を決めるようにしていただけると幸いです。



2 学校生活・授業



学校生活については、「学校に行くのが楽しい」が84.3%、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」が89.1%でした。また、「困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」は70.3%でした。肯定的な回答ができなかった生徒が2割から3割程いることを念頭に、今後も学校では生徒一人一人を大切にしたい声かけや支援に努めていきます。

また、総合的な学習の時間において「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する」は、全国の80.8%に対し、焼津市は85.7%と4.9P高く、「ICT機器を使って、情報を集めたり、整理したり、発表したりできる」は、全国の81.7%に対し、焼津市は88.2%と6.5P高い結果でした。市内の中学校で、総合的な学習の時間の充実を図り、生徒の探究する力を育てていることが分かります。

3 社会（地域）生活

「人が困っているときは、進んで助けている」は89.8%、「人の役に立つ人間になりたいと思う」が94.2%と、多くの生徒が肯定的な回答をしています。焼津市の多くの中学生の「周りの人を思う優しさ」が見て取れます。また、「地域や社会をよくするために、何かしてみたいと思うか」という質問にも70.4%の生徒が肯定的な回答をしています。

誰かの役に立ちたいと思える生徒は、人の思いに感じて動くことができるため、社会から求められる人材へと育つことが期待されます。また、何かをしてみたいという思いは、豊かな地域社会の未来を創るための力強い原動力です。お子さんの社会への参画は、地域社会の活性化に加え、お子さん自身のさらなる成長へとつながります。



焼津市教育委員会
教育センターみらい
631-4811



□■□ 確かな学力を身に付けるために必要なことは… □■□

○ 以下の棒グラフに示す数値は、**国語と数学**の平均正答率（％）です。

○ 棒グラフは左から順に以下のとおりの選択肢順に並んでいます。

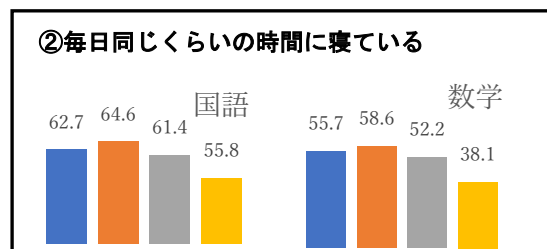
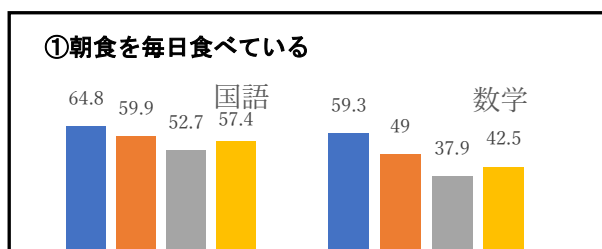
・当てはまる ・どちらかと言えば当てはまる ・どちらかと言えば当てはまらない ・当てはまらない

1 基本的な生活習慣

「①朝食を毎日食べている」に、「当てはまる」と回答した生徒の正答率は、「当てはまらない」と回答した生徒の正答率を、国語、数学共に上回っています。「②毎日、同じくらいの時刻に寝ている」では、「どちらかと言えば当てはまる」と回答した生徒の正答率が最も高く、「当てはまらない」と回答した生徒の正答率が最も低い結果となっています。

基本的な生活習慣が身に付いている生徒は学習内容が定着しています。

お子さんの生活リズムはいかがでしょう。一番大切なことは、お子さん自身が自分の生活習慣について振り返って、よりよい生活に向けて自分で決めて行動することです。

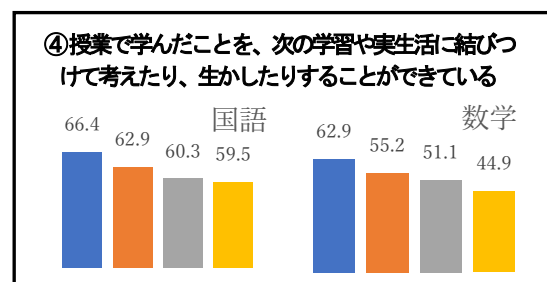
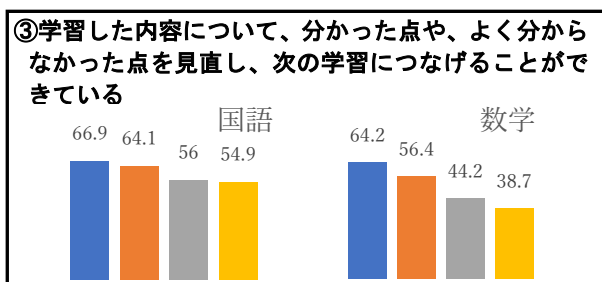


2 学習の振り返り・活用

「③学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」では、「当てはまる」と答えた生徒が、「当てはまらない」と答えた生徒に比べ、国語で 12.0P、数学では 25.5P 上回りました。日々、自分の学習を振り返り、次の学びにつなげている生徒は、学習内容が定着している傾向にあります。

また、「④授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」では「当てはまる」と答えた生徒が、「当てはまらない」と答えた生徒に比べ、国語で 6.9P、数学では 18.0P 上回っていました。

学習の定着には、学んだことを自ら進んで振り返り、分からなかった点をもう一度考えたり、学んだことを生活の中で活用したりすることが大切です。



3 他者との協働による学び

「⑤授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」で、「当てはまる」と答えた生徒の正答率が、「当てはまらない」と答えた生徒に比べ、国語で 27.0P、数学では 32.9P 上回っています。

自分とは異なる考えに触れ、多様な考えを尊重し、課題解決に取り組むことは、これからの社会を生きる上で重要な力となり、結果として学力の向上に結びつきます。学校では、自分の考えに他者の考えを重ね合わせ、課題を解決したり、新たな考えを生み出したりする教育活動を大切にしていきたいと思います。

